

組織拡大、労働条件改善を 第136回拡大地方委員会開催



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 諏訪浩一
編集者 鈴木英一

2017年3月6日
第1528号

職場の不満や要求声にして 共に団結国労に結集しよう

国労長野地方本部は、2月25日に国労長野会館に於いて第136回拡大地方委員会を開催し、2017春闘、組織強化・拡大、安全・安定輸送の確立など当面する闘争方針を決定しました。

鈴木副委員長の司会で始まり、委員18名中18名全員の出席を確認し、委員会の成立が宣言されました。議長には新幹線運転所分会の北島義憲委員を選出しました。

諏訪委員長挨拶では、①組織強化・拡大では信州ロジで岸田さん、長野駅で東さんが加入をしてくれた。しかし東日本管

内だけでも毎年600名が減少する。若い人に組織をつなぐ責任は国鉄採用組合員にある。仲間の拡大の取り組みに学び、みんなで取り組んでいこう。②JR発足から30年経ち社員数は3割の削減だが、グループ全体では発足当時より増えている。グループ会社社員は安い賃金と労働条件低下

の中で働いている。春闘を機に改めて職場実態を点検し改善に取り組もう。③安倍政権は秘密保護法戦争法を成立させ、新たに「テロ等組織犯罪準備罪」を成立させようとしている。働き方

改革では大企業の利益確保をしようとしている。安倍暴走政治を許さない立場で全力で闘っていこうと訴えました。

エリア本部 伊藤業務部長の挨拶

①組織の強化・拡大では今年になって3名の拡大となった。分会活動を活性化し目的意識を持つて誘おう。東労組のスト権をめぐる動きで30名ほどが脱退した。拡大のチャンスがある。②17春闘では15000円の要求と8項目の重点要求を行った。東日本会社は、5期連続の増収・増益で支払い能力はある。各機関は学習会、決起集会を開き全組合員の参加で勝ち取る。③安全・安定輸送では、各職協と交渉を行った。制度に対する交渉、一括和解後の積み残し問題も出た。エルダー



制度が行き詰っている中、技術継承などを改善しよう。

7名の委員 から発言

その後、若林書記長より当面する闘争方針の提起。飯島組織部長より組織の強化・拡大の取り組みへの訴え。三井業務部長より業務の報告が行われ、討論に入りました。

松本電車区・上條さん

▽信濃大町駅の冬期要求では「車両の屋根上除雪作業は二人以上で行う」とルール化を要請した。現場長より「できるだけ応援体制をとる。冬期体制をなくすための設備面も検討中」との回答を得た。

▽出向先組合員が中心となり他労組とも要求を練り上げ申し入れた。プロパー社員の21歳の基本

給は14万弱。アパートを借りても補助はなし。本社にも要求を上げるために準備中。

貨物松本・細野さん

▽信州ロジの岸田さんが国労加入を決意してくれた。昨年、信ロジ若手が飲み会を開催し、一人が「紹介したい人がいる」と話し、次の飲み会に呼んだ。その中で職場の現状や不満を話している中で、彼が国労への関心が高くなり加入となった。感心したのは、国労に入つて日の浅い組合員が自発的に取り組んだこと。拡大は加入して終わりではなく、そのあと仲間を育てることが大切と感じた。我々も歳だからと消極的にならないようお互いに頑張ろう。

新幹線東信駅・小林さん

▽ダイヤ改正で佐久平駅、軽井沢駅で要求をあげた。

小海線での新幹線乗り換え時間の改善、軽井沢では繁忙期に要員が足りない。利用者の利便性を第一に考えたい。

▽若い人をワカサギ釣りに誘ったら、色々話してくれた。拡大では対象者に加入用紙を渡すことが大事。渡



すことで話すきっかけになる。一人ではなく全員でやるようにしたい。

▽ホームで目の不自由な人を案内した。その人は「ホームは怖い。杖で人の足を叩きたくないので端を歩く」と言っていた。ホームに人を配置し安全輸送を守っていくんだと再認識した。

長野運輸・小森さん

▽東さんが加入してくれた。本人が仲間の声に耳を傾けて決断してくれた。新採の説明会も東さんが尽力してくれて実現できたものだ。

▽長野駅窓口の混雑解消をずっと要求している。また、年末年始の新幹線時刻表でダイヤ改前の数日間が使えない。先を見通して会社はできないのか。

松本運輸区・松田さん

▽分会では半数が出向者。出向者は行った先の分会所属にしたい、との話があつたが慣れた人と行動を共にしたいとの声が多い。分会役員が行動し、活動を活発化すればいいのでは、との意見も出た。▽ダイヤ改は3組合ですり合わせをして要求を作つた。現場で改善できたこともあつた。提案から団交まで短すぎる。提案が早ければ意見も通りやすいのではないかと。



松本運輸・青山さん

▽IC車補は残して欲しい。端末でタッチして使



松本運輸・青山さん

▽IC車補は残して欲しい。端末でタッチして使

若林書記長集約

①組織強化・拡大では、レクや飲み会での取り組みが成果に結びつかない現状も認識しつつ目的意識を持つて繋がりをもよおす。若い人が持つてくる不満や不安を聞き、一緒に考え行動することをみ

んなでやろう。②17春闘ではとりわけ貨物の17年連続ベアゼロ、手当の超低額回答を何としても打破しなければならない。職場から要求を掲げ現場長に改善を求める取り組みを。③労働条件改善、安全安定輸送では技術継承や労働条件改善が根幹である。安全総点検、仕事総点検を職場に定着させ、運動として強化していかなければならない。④安倍政権によって平和と民主主義が脅かされている。安倍政権の暴走を止め、改憲勢力の3分の2を打ち破るために全力をあげよう。

▽職場内の運動が見えないと言っている。若い人たちに見えるように努力していきたい。

う人が増えてきたので必要だ。▽エルダーで鉄道サービスに行った人がある。エルダー先は大変だという。車両二科・和田さん▽4月1日より大きく業務が委託される。準備は着々と進んでいる。問題が出るのは4月以降だ。委託会社と直接交渉ができないので窓口を作りたい。問題があればあげていきたい。▽緊急な動員があるのは仕方ないが、わかった時点で早めに連絡がほしい。

第34回東日本本部拡大委員会開催



17春闘
▽一人一要求運動や現場長要請への取り組み、支部春闘総決起集会、仙台地本総行動・国労

2月5日、交通ビルにおいて第34回東日本拡大委員会が開催され、当面する闘争方針が確立されました。菊池委員長はあいさつで、①組織強化・拡大について②2017春闘について③安倍政権との闘いについての3点について述べました。討論では12名が発言しました。

17春闘勝利 春闘要求獲得の近道は 組織拡大だ

東北集会などを成功させていく―仙台▽「貨物17年連続ベアゼロ」は屈辱的な結果。闘う国労を全面に出し、東日本本部も独自行動を行い、ストを背景にした取り組みを―東京
合理化反対、安全・安定輸送、労働条件改善
▽グリーンスタッフの新規採用を中止すると5年後には駅職場では大量の要員不足となる。公共交通機関としての社会的責任を追究する運動を強め、グリーンスタッフ社員の正社員化を―東京
▽JESSでは1人勤務駅の無人化や遠隔操作での要員削減を強力に進めている。延長を強く求める―仙台
駅あり方
ではほとんどの駅業務を委託して賃金・労働条件・福利厚生などを切

り下げた上で、JR駅職場の標準にしていこうとしている。JESSの就労条件を固定化させてはならない―神奈川
▽常磐線復旧工事で、高線量区間の富岡〜浪江間で運転再開に対する不安の音がある。安全安心な労働環境をつくる取り組みをしていく―水戸
▽エルダー出向先の保線職場では夜間作業が主で月100時間を超える超勤となっている。労働環境の改善は急務だ。また、エルダーでの提示・職種・希望地での問題があり「エルダー社員制度は崩壊している」と言っても過言ではない。65歳定年延長を強く求める―仙台
労働協約改定、一括和解の懸案事項履行
▽協約改定の闘いは労働条件の改善に直結する。職場の運動と連動

させ交渉に反映を。一括和解での仙台―秋田間における支社越えの解消を―仙台
組織拡大
▽昨年4月に新規採用者の国労加入を勝ち取った。この拡大での教訓は早めの情報収集と組合員・分会・支部・地本が連携を強めて他労組との接点を作らせなかつたこと―盛岡
▽JR東労組は36協定でのスト権確立一票投での混乱がある。労働者の権利を守ることを考えている国労を前面に押し出して取り組みの強化を―東京
▽6名のJR採用者がいるので全力で組織拡大に取り組む。他労組との違いを訴えることが最も組織拡大につながる―高崎

長野の徳武委員の発言を紹介します。
▽1月に信州ロジ43歳の仲間が国労加入した。学習交流会の中で国労の歴史や労組法や労基法などの資料を手渡し、1月の新年会で国労加入を決意してくれた。

2月には長野駅58歳の仲間が国労復帰。年賀状に「国労をやめたことを悔いている」とあり、「国労に来ないか」と声をかけた結果だ。
▽昇進試験では、長野では助役3名・主務職3名・主任職1名が合格したが、20回以上指導職試験に合格せず55歳を境に諦めている現実がある。一括和解から11年経つが検証も必要である。
▽長野総車セは、今年4月から大幅な業務委託となる。安全・偽装請負・事務手続き・プロパー社員などで会社側の見解をたたてきた。会社側は「すべて議論を尽くした」「安全は会社が責任を持つ」として、押し切られた。今後も粘りつよく職場環境改善などに取り組んでいく。
▽アスベストでの健康管理手帳では会社の事業主証明が取りづらい。退職してからの申請手続きは大変なので、現職時代に申請書類を用意することを確認してきた。